

史跡若松城跡ライトアップ業務委託要求水準書

1 業務の目的

史跡若松城跡の照明演出による夜間観光の魅力向上により、夜間の鶴ヶ城公園への観光誘客を促進することで、宿泊需要の喚起や飲食を含めた滞在型観光の一層の推進を図る。

2 施設の概要

- (1) 施設名称 史跡若松城跡
- (2) 指定区分 国指定史跡
- (3) 指定年月日 昭和9年12月28日（文部省告示第312号）
平成5年10月29日追加指定（文部省告示第133号）
- (4) 総面積 231,525㎡
- (5) 所在地 会津若松市追手町1番1号

3 業務条件

(1) ライトアップデザイン方針

ア 共通事項

- ① 桜の名所であることを理解し、史跡と桜を対象に昼間を凌ぐ美しさを創出する演出を行うこと。
- ② 【(別紙1) 史跡若松城跡ライトアップ図面】に示す施工可能区域内において、史跡若松城跡内の桜、建造物、濠、芝生広場等を直接又は間接により照明演出すること。
- ③ 【(別紙2) 来場者動線図】を参照し、来場者の主要動線に足元照明を設置し、安全性を十分に確保すること。
- ④ 会津若松市や史跡若松城跡の持つ歴史・文化・風土等との調和を図ること。
- ⑤ 国内外からの観光客の来訪動機となるとともに、来場者の SNS 等での発信意欲の喚起につながるよう、新規性や話題性を意識したデザインとすること。
- ⑥ ライトアップデザインのテーマを設定し、会場内のストーリー性や一体感を意識したデザインとすること。
- ⑦ 史跡若松城跡の歴史的背景に基づき、その威厳を損なうことのないよう十分に配慮すること。
- ⑧ 点灯の開始時において、会津若松市観光商工部観光課の指示に従い、点灯式を実施すること。
- ⑨ 照明のデザインにあたっては、発注者の意見を組み入れられるよう配慮すること。

イ 必須演出

次の①～③の箇所への演出は必須とする。提案に当たっては、必ず「(別紙3) 必須演出箇所への施工上の注意」を参照すること。

① 帯郭（別紙1「A」）

花見客が多く利用するエリア（花見エリア）であるため、桜を主な演出対象とし、花見客が当該エリアで飲食を楽しむことができる程度の十分な明るさを確保すること。ただし、一般財団法人会津若松観光ビューローにより「帯郭観桜席」が設置される予定であることを考慮すること。

② 本丸芝生広場（別紙1「B」）

ライトアップ期間に限定して芝生広場を一般開放することから、来場者が芝生広場内で滞留することを想定し、十分な明るさとスペースを確保した上で特別演出を行うこと。

また、本丸芝生広場内へ来場者を誘導するとともに、安全を確保するため、芝生広場への出入口に照明を設置する等の措置を講じること。

床几台を活用し、「特別席」として観光客等が休憩や食事を楽しむことができる場所を設けること。

昼間の団体利用やイベント利用へ影響が出ない仕様とすること。当該部分への仮設物の設置を妨げるものではないが、イベント利用等に支障が出る部分については、可動式にする、一時的に移動または撤去し再設置する等の措置を講じることとし、その費用は委託料の中に含まれることとする。ただし、イベント等の主催者と協議の上、イベント等に支障が出ないと判断した部分については継続して設置することができる。

③ ニノ丸（別紙1「C」）

ニノ丸の桜並木を照明演出するとともに、芝生広場に花見が可能なエリア（花見エリア）を設け、光を使って滞在を促すような空間を創出すること。花見エリアは、同時に100名以上が利用できる規模を最低条件とする。花見エリアにおいては、夜間の飲食を楽しむことができるよう、利用者の手元の照度を確保すること。

(2) 広報素材の提供

ライトアップ期間中の誘客を促進するため、情報発信に使用するメインビジュアルデザインをあらかじめ作成し、発注者にデータで提供すること。SNSでの発信を想定したサイズ（1：1）とウェブサイト等への掲載を想定したサイズ（16：9）をそれぞれ作成すること。

また、見た人が、本ライトアップの見どころをイメージできるようなデザインとすること。

(3) 留意事項

- ① 史跡内は、国指定史跡であるため、投光器等は全て仮設物とし、工事に際しては土塁や石垣等の保存に十分配慮して実施すること。また、会津若松市教育委員会文化スポーツ課埋蔵文化財担当職員の立会いを求めて、史跡の保護に関する指示に従うこと。
- ② 業務実施にあたっては、本業務の担当課である会津若松市観光商工部観光課、施設管理者である建設部まちづくり整備課、文化財担当である教育委員会文化スポーツ課及び指定管理者である一般財団法人会津若松観光ビューローの指示に従うこと。なお、疑義が生じた場合には観光商工部観光課と協議すること。
- ③ 投光器等の機材の設置及び配線にあたっては、公園内の通行や日中の景観を損なうことのないよう配慮すること。
- ④ 一般財団法人会津若松観光ビューローが管理する高圧受変電施設からの電力を使用する場合は、使用電力量について概ね 20kw 以下とし、事前に一般財団法人会津若松観光ビューローと協議すること。それ以上については、東北電力株式会社からの臨時電力又は発電機を使用すること。
- ⑤ 設置した機材の破損については、受託者の負担によるものとする。そのため、保険への加入など独自の対応を行うこと。
- ⑥ 演出、制作にあたっては、著作権等を侵害することのないよう注意すること。

4 ライトアップの実施期間

(1) 点灯実施期間及び時間

令和8年4月1日（水）から令和8年5月6日（水）まで

時間 日没(17時30分頃)から21時30分まで

※ 点灯式は点灯開始日（令和8年4月1日（水）を予定）に開催する。

※ 点灯開始日は、桜の開花状況により早まる可能性があるので留意すること。

(2) 試験点灯

本点灯の前に会津若松市観光商工部観光課職員の立会いを求めて試験点灯を行うこと。

(3) 撤去

点灯実施期間の終了後、2週間以内に全ての機材を撤去すること。

5 事業費

(1) 総事業費 15,300千円以内

(2) 次の事項は事業費に含むものとする。

- ① 消費税及び地方消費税
- ② 臨時電力使用の手續に要する経費
- ③ 一般財団法人会津若松観光ビューローが管理する高圧受変電施設からの電力を使用する場合にあっては、同社へ支払う臨時電力料金
- ④ 東北電力株式会社からの臨時電力を使用する場合にあっては、同社へ支払う臨時電力料金、発電機を使用する場合にあっては、その設置及び維持管理等に要する経費
- ⑤ 点灯期間中の機材等の保守管理
- ⑥ 点灯式に要する経費
- ⑦ 投光器等の仮設物の設置及び撤去を示す写真、図面提出に要する経費
- ⑧ その他、破損に対応する保険など業務を実施するにあたって必要となる経費

6 業務実施報告

(1) 業務終了後、下記のものを取りまとめた実施報告書を、紙媒体2部及びCD-R等磁気媒体1部により提出すること。

- ① 照明器具の設置状況を示す図面 1枚
- ② ライトアップの効果を示す写真 6枚
- ③ 照明器具の設置前及び設置後の状況を示す遠景写真 適宜の箇所においてそれぞれ1枚
- ④ 作業中の写真 適宜の箇所においてそれぞれ1枚
- ⑤ 照明器具の撤去後の状況を示す遠景写真 適宜の箇所においてそれぞれ1枚

7 その他

会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を厳守すること。